

愛知・名古屋 2026 大会ボランティア運営基本計画の概要について

1 愛知・名古屋 2026 大会におけるボランティア

(1) ボランティアの活動

○ 想定人数

約 4 万人（アジア競技大会：約 2 万 8 千人、アジアパラ競技大会：約 1 万 2 千人）

○ 運営主体

組織委員会と開催都市は、ボランティアの運営・管理を行う事務局を設置し、募集・研修・運営を実施。なお、大会ボランティアは組織委員会、都市ボランティアは開催都市が方針を決定

○ 活動内容

◆大会ボランティア

競技会場、メインメディアセンターなどの大会関連施設における活動

- ①競技運営サポート、②観客案内サポート、③運営サポート、④輸送サポート、⑤スタッフ受付サポート、⑥言語サポート、⑦会場運営サポート、⑧選手サポート、⑨ラウンジサービス、⑩テクノロジーサポート、⑪医療サポート、⑫大会準備サポート

◆都市ボランティア

主要駅、競技会場の最寄り駅周辺のラストマイルなどにおける活動

- ①観光・交通案内サポート、②誘導案内サポート

(2) 関係機関との連携

○ 関係自治体との連携

ボランティアの募集案内の配布や Web サイト等への掲載、研修会場の提供等を検討

○ 愛知学長懇話会との連携

「大会機運の醸成」、「教育の促進」、「相互の資源活用」を主な目的として 2023 年 6 月 16 日に連携協定を締結し、学生が大会に主体的に関わり、成長につなげる取組を実施

○ 日本財団ボランティアセンターとの連携

東京 2020 大会での豊富かつ専門的な知見とノウハウを募集や研修等へ活用

2 ボランティアの募集

(1) 活動条件および待遇

項目	主な活動条件および待遇	
年齢	2026 年 4 月 1 日時点で満 18 歳以上の方	
活動日数	大会ボランティア 10 日以上を目安	都市ボランティア 5 日以上を目安
	連続での活動は最大 5 日	
活動時間	1 日あたり最長で 8 時間程度(休憩時間を除く)	
ユニフォーム	ジャケット、T シャツ、長ズボン等を支給(変更の可能性あり)	
ボランティア保険	スポーツ安全保険に加入	
待遇	食事提供あり、交通費支給あり(定額)、宿泊費自己負担	

※活動日数及び待遇については、より多くの方にご参加いただくため柔軟に対応

(2) 募集等のスケジュール

2024 年 10 月頃～2025 年 1 月頃	募集
2025 年 2 月頃～2025 年 5 月頃	採用イベントの実施
2025 年 6 月頃	採用通知
2025 年 7 月頃～2026 年 9 月頃	各研修の実施

(3) 募集方法

原則、応募フォーム（パソコン及びスマートフォン等からの応募）

(4) 多様な参加者の活動促進

○ 学生

- ・学生のボランティア精神を育むとともに、愛知学長懇話会との連携等を通じ、語学や医療など専攻する分野での活躍機会を提供
- ・杭州 2022 大会では、ボランティア参加者の約 9 割(約 3 万 3 千人)が学生であったことを踏まえ、学生が活動しやすくなるよう、ボランティア活動のカリキュラム化や学生の取りまとめ役として教員の配置等も検討

○ 社会人等

- ・スポンサー企業を始めとした企業等から参加しやすい仕組みづくり、経済団体等への働きかけによる確保を検討
- ・個人での参加など、参加しやすい環境づくりを検討

○ 障害者

- ・障害の有無に関わらず、誰もが安心・安全に活動ができるように環境を整備

3 ボランティアの研修

種類	研修内容
共通研修	全役割における共通の知識、障害者等に対する接遇やアウェアネス(気づき)に関する研修
リーダー研修	リーダーの心得、役割・活動等、留意点の伝達
役割別研修	各役割における活動内容、専門的な知識等、留意点の伝達
会場別研修	各会場での活動場所・競技の概要紹介

※より多くの参加者が受講しやすい研修とするため、集合研修(県内外での実施)と e ラーニング等を組み合わせて実施

4 ボランティア参加に向けた機運醸成

- ・Web サイトや SNS を活用し、ボランティアに関する情報発信
- ・シンポジウムの実施やボランティア募集説明会の開催、他イベント等における PR

5 大会後のレガシー

- ・大会後もボランティア活動への参加機運の維持・継続を図るための取組を検討